

平成 24 年度事業報告

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

1. 概要

平成 24 年度の畜産経営を取り巻く情勢は、配合飼料の主原料であるとうもろこし等の飼料穀物の価格高騰や急激な円安による配合飼料の価格高騰、前年度に比べれば持ち直しはあったものの十分には回復しない牛枝肉卸売価格、豚枝肉卸売価格の低迷、鶏卵価格の軟調による成鶏更新・空舎延長事業の発動など、前年にも増して厳しいものでありました。

これらを受け、本会には従来から実施してきた畜産経営への支援対策、自衛防疫組織を中心とした家畜の衛生対策、価格差補填による経営安定対策、家畜の能力向上の基礎となる家畜登録や育種価評価、消費者の畜産への理解を醸成するための事業などに加え、「肉用牛肥育経営安定特別対策事業」の毎月補てんの実施や肉豚の継続的な補てん事務の実施など、国等の緊急的な対策に応じたきめの細かい対応が求められました。

また、原子力発電所事故による被害の賠償に関連して、従来にない仕組みの「牧草地除染対策事業」に取り組み、さらに、平成 23 年度に実施した返還条件付き補助事業である「肉用牛肥育経営緊急支援事業」の補助金返還事務を年度を通して実施するなど、震災関連の対策を継続して実施しました。

平成 24 年 10 月に開催された全国和牛能力共進会では、出品牛がいずれも高い評価を得ましたが、特に、肉牛の部で優等賞 5 席を獲得したことは快挙であり、本県肉牛関係者の大きな喜びとなりました。さらに、乳牛においても広域の共進会で他県を凌駕する成績を挙げ、生産者はもちろんのこと、家畜登録をはじめとした生産振興対策に主導的な役割を果たす本会にとっても大きな収穫でした。

なお、平成 24 年度は本会が公益社団法人として認定された初年度であり、会員各位の支援をいただきながら、国をはじめ、県、市町村、畜産関係団体、中央団体等との連携を密にして、「食生活に欠くことのできない安全で良質な畜産物を安定的に供給する」目的を果たすため、生産者のニーズを常に念頭に置きつつ、積極的かつ効率的に事業を実施することに努めました。

2. 事業の実施状況

平成 24 年度実施事業は、下表のとおりです。

補助元・受託元等	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	事務受託	自主事業	計
農林水産省	4						4
農畜産業振興機構	10		1	1			12
群馬県	9			5			14
地方競馬全国協会	1						1
中央畜産会	1	1		5			7
その他の団体等		1		7	10		18
協会負担金			2	1		22	25
合計	25	2	3	19	10	22	81

各事業の実施内容は以下のとおりです。

(1) 公益目的事業

公1(1) 肉用子牛の生産の安定に関する支援事業

ア 肉用牛繁殖経営支援事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が発動基準を下回った場合に差額の一部を補てんする事業ですが、前年度に引き続き発動はありませんでした。

イ 肉用子牛生産者補給金制度（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者からの申し込みにより肉用子牛の個体登録事務をおこないました。販売価格の低迷が続く乳用種については、補給金を交付しました。

契約戸数： 447 戸

登録頭数： 13,566 頭

（黒毛和種 2,799 頭、交雑種 8,787 頭、乳用種 1,980 頭）

交付戸数： 15 戸

交付頭数： 1,823 頭

ウ 肉用子牛生産者補給金制度運営体制支援事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施に必要な事務体制の整備に対する補助を受けました。

エ 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度の事務に対する補助を受けました。

公1(2) 肉用牛肥育経営の安定に関する支援事業

ア 肉用牛肥育経営緊急支援事業（補助：農畜産業振興機構）

放射性物質が暫定規制値を超えたために廃棄処分をした牛の飼養者に、返還条件付きの

「出荷自粛・廃棄支援金」を交付して、資金繰りの悪化への対応を支援しました。

補助戸数： 2 戸

補助頭数： 2 頭

イ 肉用牛肥育経営緊急支援推進事業（助成：畜産経営支援協議会）

原子力発電所の事故発生以降、出荷自粛や牛枝肉価格下落により資金繰りが悪化した肉用牛肥育経営に返還条件付補助金を交付した事業の返還事務を実施しました。

ウ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（補助：農畜産業振興機構）

契約生産者の肥育牛について申し込みにより個体登録事務をおこなうとともに、収益性が低下した場合に出荷頭数に応じて補てん金を交付しました。補てんは通常、四半期を単位としますが、肉用牛肥育経営の困窮に対応して毎月交付を行いました。

契約戸数： 318 戸

登録頭数： 27,699 頭

（黒毛和種 10,246 頭、交雑種 13,296 頭、乳用種 4,157 頭）

補助戸数： 275 戸

補助頭数： 28,326 頭

（黒毛和種 9,375 頭、交雑種 13,500 頭、乳用種 5,451 頭）

エ 畜産物価格安定対策事業（補助：群馬県）

肉用牛肥育経営安定特別対策事業において、個体登録頭数が前年度に比して増加した契約生産者に対し、増加頭数に応じて生産者積立金への補助を実施しました。

補助戸数： 138 戸

補助頭数： 3,289 頭

公1(3) 養豚経営の安定に関する支援事業

ア 養豚経営安定対策事業（受託：農畜産業振興機構）

豚枝肉平均価格が保証基準価格を下回った場合に、生産者と国の積立から差額の8割を補てんする事業を推進しました。

対象戸数： 237 戸

公2(1) 地域の畜産経営への支援指導に関する事業

ア 畜産経営流通対策事業（経営指導推進）（補助：群馬県）

畜産経営の経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成のための個別支援、畜産経営データベース等の情報化技術を活用した個別・集団支援、畜産経営の高度化に必要な情報の提供や支援、企業の経営等の多様なニーズに対応した経営支援等を実施しました。また、消費者等から求められる安全で安心な国産畜産物の生産、資源循環の中心としての畜産の役割を十分に果たす観点から、畜産農家が求める経営技術に有用な情報を提供しました。

支援戸数： 286 戸

イ 地域畜産支援指導等体制強化事業（補助：地方競馬全国協会）

本会が実施する畜産経営への支援活動、消費者等への理解増進活動、食育への参画、地

方競馬の振興等に関する各事業を補完し、その効果を高めるための事業を実施しました。

ウ 畜産特別資金等推進指導事業（補助：中央畜産会）

借入金の償還に困難が生じている経営に低利、長期で貸付された畜産特別資金借入者の経営改善を促進するために、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導等を実施しました。

指導戸数： 33 戸

エ 畜産人材確保育成事業（自主）

畜産農家等への労働関連情報の提供及び労働相談や雇用に対するアドバイス、畜産農家の求人登録、畜産業に従事を希望する者の求職登録及び職業相談並びにあっせん、事業PR、新農業人フェアや新規参入希望者等との個別面談を通じた情報提供を実施しました。

公2(2) 畜産及び畜産物への理解醸成に関する事業

ア 生産振興対策事業（養鶏振興推進対策）（補助：群馬県）

消費者に鶏卵の栄養知識を普及するための資料作成と活動を実施するとともに、各種イベント等に参加し、県産鶏卵の宣伝活動を実施しました。

実施回数： 5 回

イ 群馬の堆肥普及事業（自主）

良質な堆肥を家庭菜園愛好者等に配布して、畜産に対する理解醸成と堆肥の利用促進を図りました。

参加者数： 1,000 人

ウ 地域畜産理解増進事業（自主）

一般消費者を対象に、群馬県産畜産物の生産から販売までの過程や畜産物を利用した調理を学ぶ教室を開催して、県産畜産物の利用促進を図りました。

実施回数： 3 回

参加者数： 73 人

エ 牧場宿泊体験交流事業（自主）

酪農場を訪問し、搾乳、飼料給与、畜産物加工などの体験教室を宿泊及び日帰りで実施し、畜産への理解を深めました。

実施回数： 2 回

参加者数： 78 人

公3(1) 家畜及び畜産物の安全性確保に関する事業

ア 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（補助：農林水産省）

24ヶ月令以上の死亡牛のBSE検査を円滑に実施するため、死亡牛の輸送、検査に必要な経費の一部に補助しました。

補助戸数： 697 戸

補助頭数： 3,138 頭

イ 牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務（受託：日本畜産副産物協会）

牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に支払われる促進費の交付に必要な確認事務を行いました。

対象事業者数： 5 社

公3(2) 家畜の悪性疾病による損失対策に関する事業

ア 家畜防疫互助基金支援事業（補助：農畜産業振興機構）

海外悪性伝染病が発生した場合に、淘汰した牛、豚の代替畜の導入費用や殺処分した家畜の埋却費用の一部を生産者等が互助補償する全国的な仕組みについて、普及啓発、参加手続き事務等を実施しました。

参加戸数

牛： 847 戸

豚： 213 戸

公3(3) 農場の生産衛生の強化に関する事業

ア 家畜衛生対策事業（補助：群馬県）

地域ぐるみによる飼養豚に対する豚オーエスキー病ワクチンの全頭接種を奨励するための補助金を交付しました。

補助戸数： 117 戸

補助頭数： 812,176 頭

イ 家畜生産農場清浄化支援対策事業（補助：農林水産省）

豚オーエスキー病、牛の流死産を引き起こす疾病の発生・流行防止のためのワクチン接種費用の一部を補助して、家畜の損耗防止と経営の安定を図りました。

	補助戸数	補助頭数
牛	305 戸	9,076 頭
豚	117 戸	812,176 頭

ウ 獣医師養成確保修学資金貸与事業（補助：農林水産省）

獣医学を専攻する学生のうちで産業動物獣医師を志す者に対し、共同負担者とともに修学資金を貸与しました。

貸与人数： 8 人

エ オーエスキー病対策強化農場指導事業（受託：群馬県）

オーエスキー病清浄化の進展が見られない農場に対し、養豚専門獣医師を派遣して指導助言を実施しました。

指導戸数： 4 戸

オ 豚オーエスキー病清浄化推進事業（受託：群馬県）

豚オーエスキー病の清浄化を推進するため、対策協議会の開催、清浄化推進データの蓄

積、広報等を実施しました。

カ オーエスキー病抗体検査促進事業（自主）

豚オーエスキー病の早期清浄化を図るため、生産者がウイルス抗体保有状況を調査した実績に応じて奨励費を交付しました。

対象戸数： 178 戸

対象頭数： 3,142 頭

（2）収益事業等

1）家畜登録事業

収1(1) 家畜の登録に関する事業

ア 家畜登録事業（自主）

家畜の血統管理と能力向上のために畜種ごとの登録団体が全国的な規模により実施している家畜の個体登録に必要な情報の収集と手続きを行いました。

畜種	登録頭数	登記頭数	遺伝子型 検査頭数
乳牛	3,316 頭	—	101 頭
和牛	779 頭	6,328 頭	1,148 頭
種豚	143 頭	457 頭	—
山羊	22 頭	56 頭	—

イ 家畜登録円滑化事業（自主）

家畜の登録を円滑に進めるために必要な活動を行いました。

2）事務受託事業

収2(1) 畜産生産者の事務受託に関する事業

ア 養豚経営安定対策推進事業（自主）

豚枝肉価格が保証基準価格を下回った場合に、契約を締結した肉豚生産者に対してその差額の8割を補てんする事業への参加申し込み、補助金受け取り手続き等の事務を参加者から受託しました。

受託戸数： 190 戸

契約頭数： 667,247 頭

補助金支払頭数： 650,058 頭

収2(2) 畜産団体の事務受託に関する事業

事務受委託契約に基づき、以下の団体の事務を受託しました。

- ① 群馬県養鶏協会
- ② 群馬県種鶏孵卵協会
- ③ 群馬県養蜂協会
- ④ 群馬県家畜育成牧場連絡協議会

- ⑤ 群馬県養豚協会
- ⑥ 群馬県乳牛改良協会
- ⑦ 群馬県和牛改良組合連絡協議会
- ⑧ 群馬県家畜人工授精師協会
- ⑨ 群馬県畜産技術連盟

3) 畜産振興事業

他1(1) 家畜の能力向上の促進に関する事業

ア 家畜改良推進事業（生涯生産性向上対策）（補助：農林水産省）

生涯生産性等の評価に必要な乳用牛の体型データの収集を行いました。

調査頭数： 750 頭

イ 生産振興対策事業（家畜登録促進）（補助：群馬県）

家畜の能力改良を促進するため、家畜の血統整理や登録・登記を推進しました。

	登録・登記・検定	調査及び移動証明
乳牛	4,221 頭	763 頭
和牛	7,107 頭	1,423 頭
種豚	600 頭	3,547 頭
山羊	83 頭	13 頭

ウ 肉用牛経営安定対策補完事業

（中核担い手育成増頭推進）（補助：農畜産業振興機構）

1年間に繁殖雌牛の飼養頭数が増加した事業参加経営に対し、実績に応じて奨励費を交付しました。

補助戸数： 4 戸

補助頭数： 7 頭

エ 生産振興対策事業（肉用牛繁殖基盤強化）（補助：群馬県）

① 育種価評価普及促進

繁殖牛の育種価データの評価・解析により育種価情報を提供するとともに、解析結果を活用した育種価の普及促進のための研修会を開催しました。

データ数： 7,585 件

評価頭数： 6,925 頭

② 高育種価生産利用促進

育種価評価結果から高育種価と判断された県内農家の繁殖雌牛からの受精卵生産と地域内利用を支援するための補助金を交付しました。

生産戸数： 10 戸

配布戸数： 16 戸

③ 優良繁殖雌牛導入

一定の要件を満たして肉用牛生産者集団が導入した優良繁殖雌牛に対して補助を行い、本県肉用牛繁殖基盤の強化を図りました。

導入戸数： 20 戸

導入頭数： 20 頭

オ 生産振興対策事業（乳牛等改良促進）（補助：群馬県）

① 第16回群馬県畜産共進会

群馬県畜産試験場等で畜種ごとに家畜共進会を開催しました。

出品頭数

乳牛： 94 頭

繁殖和牛： 65 頭 8 組

種豚： 13 頭

山羊： 30 頭

② 関東地区ホルスタイン共進会

栃木県で開催された共進会への参加支援を実施しました。

出品頭数： 16 頭

③ 第10回和牛全国和牛共進会

長崎県で開催された共進会への参加支援を実施しました。

出品頭数： 4 頭

カ 生産振興対策事業（養豚生産基盤強化）（補助：群馬県）

① 飼養管理技術向上

種豚生産農場における飼養管理技術の向上を図るため、衛生管理状況および種豚生産利用調査を実施しました。

調査戸数： 28 戸

② 優良種豚導入

優良種豚を導入して種豚生産者組織を通じて生産者に貸し付けました。

導入頭数： 31 頭

キ 優良繁殖雌牛普及促進事業（特別：家畜改良積立金）

高い能力を持った繁殖雌牛を広く普及させ、県内飼養牛の能力向上を図るため、高能力精液及び高能力受精卵の購入費用の一部に助成しました。

精液：対象件数： 163 本

受精卵：対象件数： 68 個

ク 和牛全共出品対策事業（特別：家畜改良積立金）

第10回全国和牛能力共進会出品牛の巡回調査、管理指導および共進会への参加事務、共進会における各種活動を実施しました。

ケ SNP活用効率的肉用牛生産技術開発事業（受託：家畜改良事業団）

肉用牛の遺伝的評価法を開発するためのSNP分析に必要な県内飼養繁殖牛の毛根採材業務、特定系統雌牛を導入して飼養する農家の選定業務、導入牛管理事務を実施しました。

採材頭数： 400 頭

選定戸数： 15 戸

導入頭数： 15 頭

コ 肉用牛産肉能力平準化促進事業（受託：家畜改良事業団）

肉用牛の産肉能力を評価するために種雄牛を指定して交配する「調整交配」を実施し、その結果を調査してとりまとめました。

実施戸数： 70 戸

実施頭数： 98 頭

サ 和牛改良組合活性化事業（受託：群馬県和牛改良組合連絡協議会）

和牛改良組合内の繁殖雌牛飼養実態を調査するとともに、各組合で定めた繁殖雌牛改良目標を達成するための指導を実施しました。

指導組合数： 8 組合

シ 肉用牛広域後代検定事業（自主）

家畜改良事業団が実施する肉用牛広域後代検定に用いる共同利用候補種雄牛のうち、脂肪交雑において高い評価を得ている2頭の精液を、県内繁殖牛飼養農家にあっせんして、県内飼養牛の早期の資質向上を図りました。

配布戸数： 17 戸

配布本数： 649 本

ス 家畜共進会運営強化推進事業（自主）

地域で行う家畜共進会関連事業の実施に必要な費用の一部を助成しました

助成件数： 7 件

セ 第20回群馬県肉豚共進会事業（自主）

種豚の資質向上を目的として県域を対象として肉豚共進会を開催しました。

出品頭数： 94 頭

他1(2) 家畜の衛生管理の強化に関する事業

ア 予防注射推進強化対策事業（助成：中央畜産会）

家畜防疫事業の推進と予防注射の実施の徹底を図るため、資料等を配付して普及啓蒙を図りました。

イ 馬飼養衛生管理特別対策事業（受託：中央畜産会）

競走馬以外の馬飼養者の衛生管理に関する調査を実施して、馬衛生管理技術の向上を図りました。

調査戸数： 27 戸

ウ 地域自主防疫活動強化緊急対策事業（受託：中央畜産会）

自主防疫活動の重要性についての普及啓発活動を行い、伝染性疾病の発生予防などの防疫措置の徹底に努めました。

エ 家畜衛生推進事業（自主）

牛の昆虫媒介性疾病の発生予防のため、ワクチン接種費用の一部を補助するとともに、家畜生産農場清浄化支援対策事業の補完事業として、事業を円滑に実施するために必要な事務、予防注射に必要な資材の購入、注射に要した費用の支払い事務等を実施しました。

補助戸数： 218 戸

補助頭数： 3,476 頭

オ 公共牧場予防接種円滑化対策事業（自主）

公共牧場の預託牛が補助事業により予防接種を行う場合の手続き等について定めるとともに、接種費用の自衛防疫協議会間の格差を是正するための奨励費を交付しました。

対象団体数： 15 団体

受益頭数： 264 頭

他1(3) 畜産経営の人材確保と労力負担の軽減に関する事業

ア 酪農経営安定化支援ヘルパー事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農ヘルパーの業務において生じた財物の損害を補償するための保険料の一部に補助を受けました。

申請件数： 12 件

イ 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農従事者が病気、事故等により就業不能となり、ヘルパー利用が一時的に増加した場合の利用料負担の軽減を図るため、増加分の経費の一部を補助しました。

補助件数： 39 件

ウ 酪農ヘルパー事業円滑化対策事業（特別：農畜産業振興機構）

酪農ヘルパーの育成・定着を図るために必要な体制の整備及び酪農ヘルパー要員の確保、ヘルパー作業の適切な実施に必要な資格の取得等に必要な経費に対する補助を実施しました。

補助組合数： 11 組合

エ 酪農経営安定化支援ヘルパー事業業務委託事業（受託：酪農ヘルパー全国協会）

酪農ヘルパー利用組合の組織運営体制の調査、加入農家等の利用実績管理状況及び加入農家等の利用実態等の調査を実施しました。

調査組合数： 13 組合

オ 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務費（自主）

酪農ヘルパー傷病時等利用互助制度の運営、加入契約事務等を実施しました。

契約戸数： 514 戸

加入者数： 905 名

他1(4) 畜産経営の支援や調査に関する事業

ア 貸付事業指導等事業（受託：畜産近代化リース協会）

畜産近代化リース協会が貸付けた機械・車両等の保守管理及び適正な使用に関する指導を実施しました。

指導件数： 14 戸

イ ぐんま型シェアミルク推進事業（受託：群馬県）

酪農の新規就業者を確保するため、第三者への経営継承を希望する農家への調査、情報提供、マッチングサポートなどの活動を行いました。

調査・指導件数： 15 件

ウ 乳用種初生牛生産費調査（受託：中央畜産会）

酪農経営から生産されるヌレ子の生産費用等の基礎データに関する庭先調査を実施しました。

調査戸数： 10 戸

エ 養蜂振興対策事業（養蜂流通実態調査）（補助：群馬県）

良質で安定したはちみつ生産に必要な、県外転飼状況、品質表示状況、みつ源等の調査を実施しました。

調査戸数： 186 戸

オ 資源循環型畜産確立推進事業（自主）

補助事業等により設置したふん尿処理施設の抱えている課題等に関する現地調査および現地指導を実施し、さらに畜産環境保全に必要な知識の涵養を図る研修会を開催し、家畜ふん尿の適切な処理を推進しました。

現地調査及び指導戸数： 17 戸

カ 畜産協会情報提供事業（自主）

畜産農家に有用な情報等を掲載した情報誌やメールマガジンを発行して、生産者、関係団体等に配布するとともに、本会ホームページにおいて広く情報提供しました。

発行回数： 4 回 計 556 部

メールマガジン配信者数： 454 部

キ 畜産経営情報公開支援事業（自主）

畜産経営情報を公開する場所を安価に提供することにより、畜産経営のニーズに応えると共に、本県畜産に関するポータルサイトとしての「ぐんまの畜産」ホームページの役割強化を図りました。

参加戸数： 12 戸

他1(5) 畜産経営体等への指導に関する事業

ア 公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）（受託：中央畜産会）

日本政策金融公庫資金の計画作成支援、計画達成支援等を実施しました。

支援戸数： 1 戸

イ 豚枝肉格付分析情報提供事業（自主）

豚枝肉格付データを収集し、独自の分析を加えた情報を四半期毎に提供して、豚枝肉品質改善を促進しました。

参加戸数： 99 戸

他 1(6) 畜産振興等に関する事業

ア 生産振興対策事業（はちみつ品質向上）（補助：群馬県）

みつ源となる植物の種子や苗木を購入してみつ源を確保するとともに、抗生物質等の残留検査を実施してはちみつの品質向上を図りました。

検査件数： 136 件

イ 鶏卵鶏肉出荷予測事業（鶏卵）（受託：群馬県）

採卵鶏飼養者に生産動向等の調査を行い、需給の見通しについて資料を作成しました。

調査回数： 2 回

調査戸数： 34 戸

オ 畜産関係団体調整機能強化事業（受託：中央畜産会）

畜産経営に携わる女性の交流、情報交換の場を設け、畜種横断的な仲間づくりと活力ある女性生産者の生産活動等を支援しました。

カ 「食べて応援しよう」キャンペーン事業（受託：畜産経営支援協議会）

東日本大震災の影響を受けて消費が落ち込んだ牛肉の、安全性への理解と消費の促進を図るための店頭キャンペーンを実施しました。

実施回数： 2 回

キ 「食べて応援しよう」キャンペーン等推進事業（自主）

カの事業を補完するための事業を実施しました。

ク 「群馬の豚」生産推進事業（自主）

登録要件を満たす農場をホームページに掲載するとともに、統一マークの使用を許諾して、群馬県産豚肉の認知度アップを図りました。

登録件数： 6 件

ケ ぐんま産農畜産物PR応援団 in 長崎全共（自主）

第10回全国和牛能力共進会（平成24年10月25日～29日：佐世保市）の開催に併せて「県産農畜産物PR応援団 in 長崎全共」を組織し、会場内において上州和牛等の県産牛肉や本県産農産物を全国に広くPRしました。

コ 馬事畜産普及啓発推進事業（自主）

「群馬県酪農畜産フェスティバル」において、馬事及び畜産に対する理解の促進を図るための下記の下記の催しを実施しました。

群馬県畜産共進会、畜産クイズ、ゆで卵無料配布、蜂蜜試食会、豚肉試食会、畜産理解醸成パネル等展示、子豚写生大会

サ 放射性物質検査体制整備事業（自主）

中央畜産会より貸与された放射性物質検査機器を、団体等に期間を定めて貸し出すことにより、機動的な放射性物質検査体制を整備しました。

貸与台数： 2 台

シ 牧草地除染対策事業（自主）

放射性物質汚染により使用ができなくなっている永年生牧草地の利用者に除染作業を委託し、その費用を東京電力からの賠償金により賄う事業を実施しました。

委託戸数： 40 戸

対象面積： 157 h a